

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1. しごと・ひと・まちの好循環を都市基盤整備の視点から考える。 【質問趣旨】 本市の都市基盤は、高度経済成長期に整備された施設が更新期を迎えており、道路・橋梁・公共施設・上下水道などの老朽化が進行している。しかし、人口減少と財政の硬直化により、維持管理費用や更新のための投資余力は限られている状況である。 市民生活の安心・安全なまちづくりを進めるためには、「量から質」への転換を図り、整備、維持、更新のバランスをとった計画的なマネジメントが必要となる。	(1) 持続可能なインフラ維持のための戦略について (2) 第1の力:供給側の力。つまりは、本市の体制・戦略である。	① 本市の道路・橋梁・公共施設や上下水道などの都市インフラについて、老朽化の進行状況や点検・更新の実施状況など、都市基盤の現状と課題について伺う。 ① 全国的に公共事業費はピーク時に比べて大きく減少しており、今後も人口減少や財政制約の影響から、公共投資の総量は縮小傾向にあるものと見込まれる。一方で市内建設業界は地域インフラを支える重要な担い手であり、安定した事業量が確保されなければ、雇用や技術継承、防災対応力の維持にも影響を及ぼす。このような公共事業の現状を踏まえ、安定的な受注機会の確保について伺う。 ② ワークライフバランスを意識した働き方改革を前提とした週休2日制の導入は、中小建設業者での負担は大きいと考えるが、若手人材の希望は週休2日制であり、現状との隔たりがある状況である。 本市としては、中小企業が積極的に週休2日制工事の導入に取り組むことができる発注をしているのか、現状を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
今回は本市の都市基盤整備の現状を、ファイブフォース分析である5つの競争要因に沿って本市の戦略を伺う。	(3) 第2の力: 需要側の力。つまりは、地域社会の影響力である。	① 大規模災害に備え本市を対象とした災害時等における協定等、市民の安心・安全を守る取組として本市と締結している民間企業や団体との連携体制が重要と考えるが、民間の地域防災や地域貢献活動に対してどのような連携をしているか伺う。 ② 集中豪雨や地震などの自然災害が頻発する中で、道路や水路などの都市インフラの維持管理は災害時における避難経路の確保を含め、安心・安全なまちづくりにおいて欠かすことが出来ないと考える。 行政だけで守る「行政が守る防災」から地域全体で守る「共助の防災」への転換が必要であると考え、都市基盤を整備する視点から見た場合、市内建設業界全体で地域を支え合う防災の考え方と被災時の対応について、見解を伺う。
	(4) 第3の力: 代替手段の脅威。つまりは、新技術・新手法の出現である。	① 近年、ドローンを活用したインフラ点検や、AIによる劣化診断など、建設分野のDXが急速に進化している。これらの技術は、従来の人手による点検に比べ、安全性の向上やコストの削減、作業の効率化に大きな期待がされている。例えば、AIによる劣化予測を導入し、ドローンや管内カメラを活用した点検を実施することで、老朽化設備の計画的な更新・修繕サイクルの最適化を進めることができると考えるが、本市におけるDX活用の推進方策について、見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5) 第4の力: 既存業者間の競争。つまりは、市内建設業の競争環境である。 (6) 第5の力: 新規参入の脅威。つまりは、外部参入の可能性である。	② 国土交通省では「建設DX推進計画」を打ち出し、電子納品等の標準化を進めている。本市として、提出書類の電子化などデジタル化の現状と方針について伺う。 ① 近年、市内の建設業界では、担い手の高齢化や若手人材不足が深刻化している。同時に資材価格や燃料費の高騰が続き、工事費の採算が悪化していることから、入札不調・契約辞退などの事例が各地で増えている。本市の発注時における課題解決に向けた取組について伺う。 ② 市が発注する建設工事において、高度な技術及び献身的な努力により優れた成績で工事を完了した施工業者に対して表彰を行う瀬戸市優良工事施工業者表彰制度がある。本制度の評価軸は多岐にわたると考えるが、目的と効果について伺う。 ① 近年の財政状況下において、公共施設の整備・維持管理やサービスの提供において、PPP・PFIの活用が注目されている。 PPP・PFIの導入は、外部の大手企業が参入して地元企業の受注機会の減少など地域経済への影響が懸念される。 現在業務委託において行われている、ウォーターPPPの説明会の目的と進捗状況について伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		② 市外事業者が市内事業に参入する際には、地元企業参画や地元調達が行われなければ、地域内の雇用や資金循環は確保されない。 市外事業者の参入が、地域経済の活性化に繋がるような取組方策及び地域経済における波及効果について、見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。